

第47回 和水町古墳祭



- ①会場一帯が三角灯籠の幻想的な明かりに包まれました
- ②菊水中央小コーラスLaLaLaによる合唱
- ③菊水東小による船山太鼓は迫力満点
- ④多くの来場者でにぎわうピアガーデン
- ⑤⑥まつりならではの遊びは大人気
- ⑦キレイのあるダンスは大盛り上がり
- ⑧花火に多くの人が見入っていました



昨年に引き続き、「熊本の炎は消えない」をテーマに掲げて開催を予定していた第47回和水町古墳祭でしたが、台風5号の接近により、前夜祭（5日）のみで開催となりました。

前夜祭では、ステージイベントやピアガーデン、こども夜店市が行われ、多くの来場者で賑わいました。また、火巫女による「火巫女の舞」の披露では、古代にタイムスリップしたかのように厳かな雰囲気にも包まれました。

町内の子どもの思いが込められた三角灯籠は、京塚古墳周辺に設置され、夏の夜を幻想的に彩りました。今年はまつりの相互視察を行っている埼玉県行田市の埼玉小学校の子ども達にも製作していただき、まつりの賑わいに一役買ってくれました。三角灯籠のまわりは自分の作品を保護者に紹介している子どもたちの姿が多く見られました。

8月8日に延期された花火大会は、平日にも関わらず多くの人が足を運び、江田川河畔から打ち上げられる夏の風物詩に見入っていました。

